



投資環境

2024年10月8日

最近の金融市場動向と今後の注目点

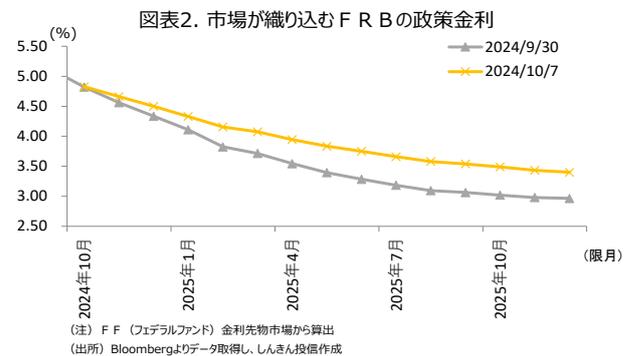
10月4日に発表された米雇用統計が米労働市場の底堅さを示す内容であったことなどを受けて、円安が進行し、東証リート指数が下落しています。ここでは、最近の国内の金融市場の動きや今後の注目点についてまとめたいと思います。

▣ 最近の金融市場動向

10月に入り、米雇用統計で失業率が低下するなど、市場予想を上回る米経済指標の発表が相次いでいます(図表1)。好調な経済指標を受けて、市場では米利下げ期待が後退しています。10月7日時点では、年内残り2回の会合で計0.5%の利下げを織り込んでいます(図表2)。この水準は、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で示された見通し(中央値)とおおむね同水準です。

利下げ期待が後退したことで、米長期金利は4%台に上昇し、日米金利差は拡大しました(図表3)。日米金利差の拡大を受けて、ドル円は一時149円台まで上昇しました(図表4)。円安を好感し、日経平均株価は4万円に迫る水準に上昇しています(図表5)。

一方、米長期金利の上昇が波及し、国内長期金利は約1ヶ月ぶりに0.9%を上回りました。金利上昇が嫌気され、東証リート指数は1,700ポイント近くまで下落しています(図表6)。





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

## □ 今後の注目点

### ①日米の政治イベント

日本では、10月9日に衆議院が解散され、27日に衆院選の投開票が予定されています。衆院選で、連立与党が過半数を割れることになると、国内政治の不安定化への懸念が高まり、株式市場は嫌気する恐れがあります。また、米国では11月5日に米大統領選が予定されています。トランプ氏とハリス氏の支持率は拮抗しており、どちらが勝利するか読めない展開が続いています。大統領選後は、結果を受けて、内外の金融市場が一時的に不安定化する恐れがあります。

### ②日米の金融政策に関する会合

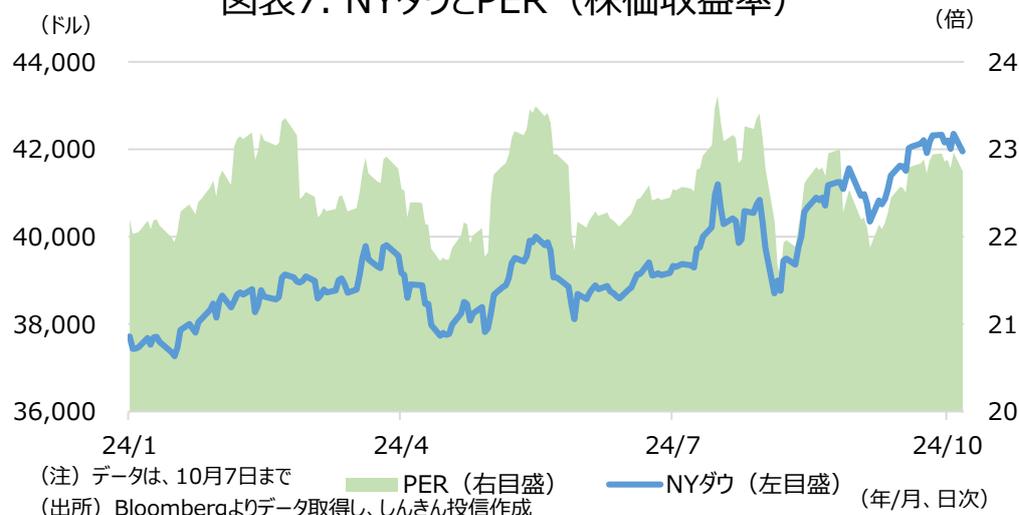
10月30、31日に行われる日銀の金融政策決定会合では、現状維持が見込まれます。ただ、9月の会合で追加利上げに慎重な発言をした植田総裁が、10月の会合で一転して追加利上げに前向きな発言をすると、円高が進む可能性があります。また、11月6、7日に行われる予定のFOMCでは、利下げが見込まれますが、最近の米経済指標が好調であることや資源価格の上昇を受けたインフレ再燃懸念から、利下げが見送られる可能性も残っています。仮に、利下げが見送られることになると、米金利は一段と上昇し、円安がさらに進行する可能性があります。

### ③米企業決算

10月24日から米主要ハイテク企業の7-9月期決算発表が予定されています。好調な米経済を背景に決算は良好な内容となる可能性が高そうですが、NYダウが年初からすでに10%以上上昇するなど、米国株の割高感は強まっており、決算を受けて一段と株価が上昇する余地は乏しそうです(図表7)。決算が市場予想を下回る内容になると、失望売りが膨らむ恐れもあります。

上記に加えて、雇用統計やGDP(国内総生産)など重要な米経済指標を受けて、当面の金融市場は変動の激しい動きが続くことが予想され、警戒が必要です。

図表7. NYダウとPER (株価収益率)





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

## (参考) 今後の主なイベント

日付	国内	米国
10月9日	衆議院の解散	
10月10日		消費者物価指数
10月17日		小売売上高
10月24日		テスラ、アルファベット マイクロソフト決算
10月25日		アマゾン決算
10月27日	衆院選 (投開票)	
10月29日		求人件数
10月30日	日銀の金融政策決定会合 (31日まで)	GDP (7-9月期速報)
10月31日	植田日銀総裁記者会見	個人消費支出、メタ決算
11月1日		雇用統計、アップル決算
11月5日		大統領選
11月6日		FOMC (7日まで)

(出所) 各種報道を基に、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。